



地震（南海トラフ巨大地震）を想定した避難訓練の実施！

みなさんも知っていると思いますが、5月に入って、大きな地震がたくさん発生しています。先日の5月20日（水）午前11時46分頃にも、鹿児島県で最大震度5強の地震が発生しました。

このような中、5月25日（月）に、「地震発生（震度6強想定）の避難訓練」をしました。避難訓練は、次のように行いました。

9時40分、地震が発生したという校内放送を流しました。

内容は、①「訓練、訓練。南海トラフ地震と思われる地震が発生しました。ゆれはまだしばらく続くと思われます。児童のみなさんは、安全な姿勢をとってください。」そして、②「指示をよく聞き各自、自分で判断し安全を確保する。」、大きな揺れがおさまって1分後、③「安全が確認できるまで姿勢を低くして、頭を守ってください。」さらに、④「揺れが収まり、避難経路の安全が確認できました。安全に気を付けて校庭に避難してください。」の指示に従って、⑤「自分で判断し、運動場に安全に避難する。」という、流れの訓練を行いました。

子どもたちは、それぞれに放送をよく聞き、自分の判断で机の下にもぐり頭を守る行動をするなど、それぞれに身の安全を守りました。その後、避難指示の放送に従って、各自静かに第一次避難場所としての運動場に集合し、人数確認と第一次避難についての確認を行いました。

《避難の際の注意事項》

- ①「まず低く、頭を守り、動かない。」「かってに外に飛び出さない。」
- ②「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない。」
- ③「静かに避難する。（運動場へ）」について確認をしました。

<みなさん、次のことも考えてみてください。>

- ① もし、地震による洪水等のおそれがあれば、どこに避難しますか？（第二次避難場所としての校舎2階教室へ避難する。：校舎倒壊の恐れがない場合）
- ② 今回は校内放送を使うことができましたが、もし、「停電により放送が使えなかったり」、「運動場に避難ができなかったり」と、いろいろな状況を自分でも想定し、安全に行動できるように考えてみましょう。

今回の避難訓練を通して、「自分の命は自分で守るために、どのように行動するべきか」について、日頃から考えておくことが大切であることを学びました。

